キャラクター名
エイリアス

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ バロール	ワークス	ギルドメンバー	カヴァー	ギルドメンバー
オプショナル		年齢	25	性別	男
覚醒	渇望	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %
出自	資産家	経験	成り上がり	邂逅	主人:ﾌｪﾙﾅﾝﾄﾞ･ﾌﾗﾝｺ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0		0	1		1
感覚	4		0			4
精神	3		0		1	4
社会	1		0			1

HP	26
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ギルド	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
シェキナーの弓(必中の弓)	射撃	4r		11		ﾀﾞｲﾍﾟﾅ無効 射撃攻撃の達成値常時+10 命中失敗で暴走 HRP91
デブリ･トランプル	射撃	8r+10		25		CR+死点+ﾋﾟﾝﾎﾟ+刃+斧 装甲無視 13
100↑	射撃	12r+10		50		CR+死点+ﾋﾟﾝﾎﾟ+刃+斧+ﾏｽｳﾞｨ 装甲無視 17

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ウェポンケース	
コネ:情報屋	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者"レガシー":必中の弓	P	N		
フェルナンド･フランコ	P 尊敬	N 脅威		
ギルド	P 尽力	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
CR:バロール 3	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	-	
効果： 組み合わせた判定のC値-LV(下7) EAP129								
死点撃ち 3	3	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	対決	-	
効果： 装甲無視と組み合わせて使用 攻+[LV*3] BCP56								
ピンポイントレーザー 5	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	-	
効果： 装甲無視 攻-[5-LV](最大0) EAP24								
瞬速の刃 3	3	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果： 判定ダイス+[LV+1] EAP31								
巨人の斧 3	3	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果： 攻+[LV*3] 判定ダイス-2個 EAP29								
マスヴィジョン 3	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	100%	
効果： 攻+[LV*5] シナリオ3回 EAP26								
真昼の星 1	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果： 目が良い EAP27								
ディメンジョンゲート 1	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	至近	効果	自動	-	
効果： 知っている場所へのゲートを作る EAP35								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

口生い立ち
企業オーナーとして手腕を振るう資産家の下で生まれ育った長男。2個下の弟がいる。先代だか先々代だかがボロ儲けした潤沢な金で何不自由ない生活を送っていた。家族は今の生活を享受し、そしてゆくゆくは莫大な富を恣に出来る彼をこの世で一番幸せであるのだと事ある毎に口にしていたが、当の本人はそれを受け入れられなかった。あらゆる幸福を望まずとも与えられてきたからこそ、自分の手で掴む自由や幸福に強い憧れを抱き、次第にそれを抱えたままでいることは困難になっていった。
本格的に家の仕事に携わることになる16になって間もない頃、家を出ることを決意する。家から与えられた金を利用することはしたくなかったため、殆ど身一つで逃げ出す無謀とも言える試みではあったが、皮肉にも幼い頃からあらゆる勉学を叩き込まれ知識を蓄積してきたことが功を奏し、なんとか家を離れることには成功する。
しかしながら家が彼をそのまま放っている筈もなく、見つかるのも時間の問題かと思われていたところ、当時潜伏先に選んでいた日本でレネゲイド事件に巻き込まれる。巻き込まれると雖も単に「UGN･FH･ギルドの三勢力が其々の理由により別個に同じ遺産を回収するため出向いていたところに偶然出会した」だけなのだが。それで終わればただワーディングの効きが悪い一般人で終われたのだが、幸か不幸かその場の彼以外にとってのターゲット、詰まるところ遺産に適合してしまう。その後状況は荒れに荒れたのだが――結果としてはギルドが彼ごと持ち帰り(彼にとっては連行されたに等しいが)、今後の処遇を彼等に委ねることとなる。見るからにヤバい組織に連れていかれ、万事休すと腹を括っていたのだが、結果的にはギルドに所属し死ぬまで組織に忠誠を誓うという落としどころに落ち着いた。
初めはレネゲイドコントロール自体素人のため相当苦労したが、元々素質があったのか、それとも遺産の影響なのか、直ぐにオーヴァードの力に適合していき、今では組織内でも名の通る構成員の一人として活動している。拾われたのは日本支部だが、声がかかれば世界中どこにでも出向く。初めはこんな裏社会に首を突っ込むことになろうとは露程も思っていなかったためマズいことになったと焦っていたが、仕事をこなす内に自分の焦がれていたものが全てこの世界にあることを実感し、今では「天職」と自称するレベルで馴染んでいる。
彼が家に追われないように戸籍を初め様々な手配をしたのは、彼をギルドに招き入れたフェルナンド･フランコ本人である。あの場を凌いでいても、最終的には行く当てもなく死んでいたかもしれないことを考えると彼にとってフェルナンドは恩人であり、それ故に深い忠義を感じている。